

# 実践事例

## 1 実践の概要

### (1) 取組みのねらい

いじめの発生を未然に防ぐために、学校、家庭、地域がスクラムを組んで子どもを見守る態勢をつくり機能させていく。

### (2) 取組みの内容

- ① 週1回、生徒指導委員会兼いじめ根絶チーム（校長・教頭・生徒指導主事・各学年担任・養護教諭）での情報収集、情報交換 ※ 内容は翌朝の打ち合わせで全職員にて確認
- ② 年6回の全職員による生徒指導全体協議会での情報収集、情報交換
- ③ 教育相談の充実 4形態の教育相談（全校教育相談、三者相談、チャンス相談、呼び出し相談）
- ④ いじめ・人間関係アンケートの定期的な実施
- ⑤ スクールカウンセラーの配置 週1回 水曜日
- ⑥ 家庭、地域との連携

## 2 実践の成果(態度・心情面やいじめの解決など)

- (1) 生徒指導委員会では、生徒の授業でのつぶやきや生活態度の変化、教室や保健室での会話などあらゆる面からの情報収集がなされ、生徒間の諸問題の早期解決に大きく貢献した。
- (2) 生徒指導全体協議会では、アンケート結果をもとに家庭生活、学校生活の両面から全職員で生徒理解に努めることができた。また、生徒の意見から、生徒指導面での教師同士の歩調を合わせた対応が図られた。
- (3) 教育相談では特に全校教育相談として校長、教頭をはじめ全教員が全校生徒と面談を行った。担任や部顧問などではない教師との面談で本心を打ち明け、日頃の悩みが解消した生徒が数名おり、うまく連携が機能した。
- (4) 各種アンケートでは、できるだけ“何でも書ける雰囲気作り”を重視し、教師も同じ目線にたった形で行うようにし、学校生活改善のきっかけになった。
- (5) 毎週昼休みにカウンセリングルームに通う生徒がおり、多くの相談を受けていただいた。
- (6) 保護者向けメーリングリストで学校の様子を配信し中学校の活動を紹介し、好評を得た。また、学期毎の保護者会ではいじめについて学校の取組を説明し協力を促した。

## 3 取組の評価(対応についての評価)

- 生徒の服装や態度の面からも学校全体が落ち着き、授業や部活動に熱心に取り組む生徒が多い。昨年度と比較し、いじめ以外の生徒指導の件数も大きく減り、校内の生徒指導体制も充実している。

## アンケートのお願い

※ 名前を書く必要はありません

最近、中学生が自ら命を絶つという痛ましい出来事がテレビ等で報道されています。言葉では説明できないほどの苦しみがあったのだと思います。そんな苦しみも、はじめは小さなことでした……。全員が安心して、学校生活が送れるようにと願う気持ちはみんな同じです。いじめのない、楽しい学校生活をみんなで作っていきましょう。

一生懸命ひのき祭の準備をしている姿や、クラス合唱の練習をしている皆さんを見ると、とてもうれしくなります。きっとひのき祭の大成功につながるだろうと思います。全校生が1つの目標に向かって、ひのき祭だけでなくこれからのよりよい学校生活のために協力できる檜沢中でありたいと思います。

◎ 4月からの現在までの自分の気持ちと合うものに○をつけてください。また、知っていることがあれば書いてください。

1. いじめを見たり聞いたりしたことがありますか？

ない

ある

いつ \_\_\_\_\_ どこで \_\_\_\_\_ だれが \_\_\_\_\_ だれを \_\_\_\_\_

2. いじめのようなことをしたことがありますか？

ない

ある

いつ \_\_\_\_\_ どこで \_\_\_\_\_ だれ(だれたち)を \_\_\_\_\_

3. いじめを受けたことがありますか？

ない

ある

いつ \_\_\_\_\_ どこで \_\_\_\_\_ だれ(だれたち)に \_\_\_\_\_

4. もしいじめを見た時、あなたはどうしたらよいと思いますか？また、いじめをしている人たちにどんなことを分かってもらいたいですか。

先生たち、そしてみなさんのお家の方も、学校生活がよりよいものになるように心から願っています。丁寧に答えてくれたみなさん、ありがとうございました。